

〈報告〉 ②宮城より

「震災の体験と学んだことを伝えたい」  
その願いをどう共有するか

---

大崎市立古川第四小学校

教員 佐々木 亮 さん

震災から14年、今教壇に立って思うこと  
～震災を風化させずにどう語り継いでいくのか～



## プロフィール

PROFILE



佐々木 亮

- 生年月日：1993年6月5日
- 出身地：宮城県東松島市
- 震災当時：高校2年生
- 現在：大崎市立古川第四小学校勤務

## エピソード

EPISODE

1

震災時の様子

2

現在、教師という立場になって

3

風化させずに伝えていくということ

# ① 震災時の様子

## ①震災当時の様子

01

高校へ登校  
震災発生・・・

02

避難してから過ぎて  
いく時間。  
夜を学校で明かす。  
**情報がない！**

03

翌日の学校にて、  
「帰れる人は帰っ  
てもいいよ」



## ①震災当時の様子

04

学校から自宅まで自転車を押して帰宅



## ①震災当時の様子

05

何とか歩いていく。  
いつもと違う通学路  
に絶句。



06

家は流されてはいま  
せんでしたがめちゃ  
くちゃでした。



07

その夜。  
祖父と叔母が津波  
に流されたことを  
聞きました。

② 現在、教師という立場になって



## ②現在、教師という立場になって

01

現在、私は大崎市立  
古川第四小学校に勤  
務しています。

津波の被害はなかった地域  
川沿いで地震の際には  
氾濫の恐れがある



## ②現在教師という立場になつ

て

02

- ・被災地ではない区域の学校に勤務して...  
~子どもたちに伝えていること~

- ①地震が起きたら高いところへ逃げる
- ②家庭での災害時行動の確認や学校での避難訓練の徹底
- ③災害時の情報を整理し、むやみに動かないこと

## ②現在、教師という立場になって

03

- ・被災地ではない区域の学校に勤務して...  
~今の現状、感じていること~

- ①自分の経験を伝えていく
- ②学校の避難訓練、引き渡し訓練の徹底
- ③目まぐるしく変わる情報化社会 何が本当か、何がうそか

③ 風化させずに伝えていくということ



### ③風化させずに伝えていくということ

- ・災害は人生の中でいつでも起きるということ
- ・自分の経験を伝えていく
- ・情報を整理して自分の安全を確保すること

ありがとうございました!

